

國暉酒造(主屋・仕込蔵)

[登録日]平成 30 年 2 月 28 日

東茶町 8 番地外

正面外観【主屋】



正面外観【仕込蔵】



出桁、持ち送り梁【主屋】



遠景外観【仕込蔵】



- ◆ 建築年代：主屋…江戸後期以降（改修年 平成 9 年）
仕込蔵…江戸後期【※南側約 5.5 間分】
（増築年 明治期頃）

- ◆ 構造：主屋…木造 2 階建 仕込蔵：土蔵造 2 階建

■ 概要

松江城の南側、近世に茶商などの豪商が住んでいた東茶町にあり、國暉酒造の創業者である岩橋家は、現在地で江戸時代に廻船問屋、藍染業などを営み、明治 7 年（1874）に酒造業を創業しました。

主屋は文化 5 年（1808）にこの地域で大火があったことや酒造業を創業した時期から、江戸後期以降に建築されたと考えられます。1 階の軒が比較的低い総 2 階建の建物で、漆喰壁、板壁を使用し、出桁や持ち送り梁、木返格子、平格子といった伝統的な町家の意匠が施されています。

蔵は松江藩から譲り受けたものを仕込蔵として使用し、明治期に増築したと伝わっており、南側の一部が江戸後期のものと考えられます。

宍道湖湖畔の歴史的景観に寄与するとともに、市街地では数少なくなった江戸時代の歴史を語る貴重な建物です。

位置図

